



90年4月1日

No. 81

東京都腎臓病患者連絡協議会（東腎協）
事務局・〒161 東京都

電話・FAX

一九七一年八月七日第三種郵便物認可
SSKA 通巻一六六号（毎月六回）の日
一九九〇年三月十一日発行

第18回総会議案集

東腎協第18回

総会次第

- 開会あいさつ
- 議長団選出
- 会長あいさつ
- 〔報告事項〕
- 活動報告、決算報告
- 監査報告
- 〔審議事項の提案〕
- 活動方針案、予算案
- スローガン案
- 総会宣言案
- 新役員選出
- 閉会のあいさつ
- 〔総会終了後、記念講演〕

第18回総会のご案内

東腎協規約第六条により、左記の通り第十八回総会を杉並区高円寺会館において開催します。会員・家族の皆さん、お誘いので、ご参加下さい。

記

日時 平成2年4月1日（日）午前10時開場
第18回総会（午前10時30分から）

記念講演（午後2時から）

「私の障害者問題への取り組みについて」

講師・コロンビア・トップ

（参議院議員・下村泰）

会場

高円寺会館
杉並区高円寺北

2-1-2

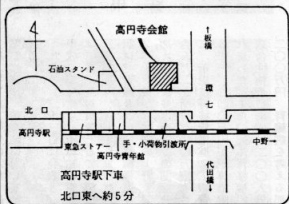
☎03(330)9624

※総会は午前10時30分から行われますので参加者には昼食を用意します。又、参加者はこの議案書を必ずご持参下さい。

〔交通〕JR高円寺駅下車、北

口東へ約5分

〔駐車場〕会場には駐車場がありません。



平成元年度活動報告(案)

一、はじめに

今年度は、その誕生までのいきさつも含めて国民に悪評の消費税が導入されました。この消費税は逆進性のために、私たちのような患者やお年寄りなど、経済的に弱い人たちに大きな打撃を与えました。また、東腎協の運営にも大きく影響しました。

今年度はまた、脳死と臓器移植を巡る状況も大きく動きました。移植学会を始めとする臓器移植公開シンポジウムが各地で開かれ、日本初の生体部分肝移植の実施、各大学医学部等における倫理委員会への臓器移植申請も相次ぎました。こうした中で昨年十二月、「臨時脳死及び臓器移植調査会(脳死臨調)」の設置法案が成立し、今春にも脳死臨調がスタートすることになりました。

一方、医療をめぐる状況では、地域医療計画の策定を柱とする第一次医療法の「改正」が昨年三月

をもって全国的に達成されましたが、二次医療圏の設定では全国で四一%の区域が「過剰医療圏」となり、これらの地域では病床の新增設ができなくなりました。

また、平成二年度には病院を急性病院、慢性病院などに分類し、それぞれ別の診療報酬体系を設定するという、病院の類型化を中心とする第二次医療法の「改正」が予定されています。これらの「改正」が私たちにどう影響するのかを慎重に見守っていく必要があります。

都立病院はこれまで民間で対応が困難な高度医療、不採算医療を中心にやってきました。そして、それ故に一般会計からの補助金を受けて運営されてきました。しかし、今、一般会計からの補助金を大幅にカットし、医師、看護婦などの職員定数の削減などによる「独立採算性の運営」や、都立病院の整備計画の見直しなどが検討されています。

こうした状況の中で東腎協は、腎臓病の予防・早期発見から社会復帰に至る「腎疾患総合対策の確立」を主とする第十七回総会で決められた活動方針に基づき、次の活動をしてきました。

二、主な活動と成果

(1) 東京都に対する要請活動

東腎協は毎年、次年度の東京都予算に関する要請活動を行っています。このところ、衛生局に対する腎疾患対策に関する要望は、国の動向もあって着々と成果を挙げています。

平成元年度は、特殊疾病対策の中に初めて腎不全対策という事項が盛り込まれ、腎臓及び角膜移植推進キャンペーン費、腎臓病のマニユアル作成費、腎臓病を考える都民の集い費、死体腎移植組織適合性検査費助成が予算化されました。

平成二年度の東京都予算に関する要請は昨年六月二十七日に行われ、「腎臓病の研究、予防、治療から社会復帰まで含めた腎疾患総合対策を確立してください」など二十二項目の要望書を提出し、衛

生局、福祉局、労働経済局、総務局、教育庁、養育院に対して要請しました。

本年一月二十三日に発表された平成二年度東京都予算知事原案では、腎不全対策費として総額三、三〇〇万円が計上されました。内訳は、腎臓及び角膜移植推進キャンペーン費が、従来の上野公園に加え新たに多摩地区での開催分を含んだ二ヶ所分七〇〇万円、さらに、新規に腎移植推進の広報費として一、〇〇〇万円が予算措置されました。また、死体腎移植組織適合性検査費助成は二〇〇人分・二〇〇万円、腎臓病を考える都民の集い費は三七〇万円などとなっています。

福祉局関係では、心身障害者福祉手当が来年度も五〇〇円増額(平成二年十月から一二、五〇〇円)が予算化されました。

このように私たちの運動はこれまで大きな成果を挙げています。

しかし、元年度の死体腎移植組織適合性検査費助成は二百人分が予算措置されましたが、七月からの実施だったこともあり一月現在の執行は五十二人分にどまっています。この制度は東腎協の長年の

運動の成果であり、今後は大いに利用することが必要です。

(2) 内部障害者に対する鉄道運賃等の割引制度適用、ついに実現

長年、私たち内部障害者の悲願であった鉄道・航空運賃の身体障害者割引制度の適用がついに本年二月一日から実現しました。

私たち内部障害者がこれらの運賃割引制度から除外されていることについて、全腎協では会の結成以来、他の団体とも協力して運動

を進めてきました。昭和六十二年九月の第一〇九国会で内部障害者に対する鉄道・航空運賃等の身体障害者割引制度適用を求める請願が採択されたのを機会に、全腎協ではJPC（日本患者・家族団体協議会）と協力して運輸省、全国JR六旅客会社などへの陳情活動を強力に行ってきました。

東腎協においても、この割引き制度の内部障害者への適用を求める意見書を国へ提出してもらっための都議会請願に取組み、昭和六十三年七月の第二回定例会議で

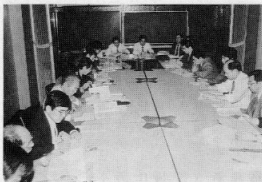
採択される成果を挙げるなどの運動をしてきました。

この運動は昭和四十二年に呼吸器障害、心臓障害が内部障害者として認められて以来の実に二十二年間にわたる長い粘り強い運動と、多くの患者・障害者団体の結束の結果であり、非常に価値のある成果であると評価できます。

(3) 腎バンク登録者拡大のためのキャンペーンを四カ所で実施

腎臓及び角膜移植推進キャンペーン並びに腎バンク登録者拡大キャンペーンは「腎移植推進月間」中の昨年十月十五日、上野並びに新宿、八王子、町田の四カ所で行いました。

上野公園で開かれた腎臓及び角膜移植推進キャンペーンは、東腎協のほか東京都、東京都医師会、東京都眼科医会、アイバンク、ライオンズクラブ国際協会三三〇一A地区、腎臓移植普及会の七団体の主催により開かれました。当日は、主催団体の挨拶、ミス東京のアピールに続き、献腎・献



東京都へ予算申請行動（6月27日）



腎バンクキャンペーン（10月15日）



腎臓病を考えるつどい（11月26日）



会員交流会（11月5日）

眼のパンフレットやリーフレットなど五千組を配布しました。東腎協からは区北部、区東部の患者会を中心に八十人が参加し、キャンペーンを中心となって活動しました。

会場での腎臓病医療相談は日本医科大学助教授・飯野靖彦、同講師・栗原恰の両先生、また、血圧測定は上野病院の看護婦四人の協力を得て実施しました。

一方、腎バンク登録者拡大キャンペーンは東京都の後援を得て新宿、八王子、町田の三方所で実施しました。新宿会場は区南部、区中央部の患者会を中心に七十人、

八王子会場は多摩部の患者会を中心に九十四人、町田会場はあけぼの友の会を中心に五十一人が参加して献腎リーフレットや、東腎協で用意したポケットティッシュを合計一万組配布しました。

また、八王子会場では調布東山病院の看護婦二人、さらに町田会場ではあけぼの病院の看護婦二人の協力を得て血圧測定を行い好評を得ました。

今回のキャンペーンは、一日の参加者が二九五人と過去最大を記録したこと、上野は主催団体も増

えいっそう華やかになったこと、新宿、八王子、町田の三方所も東京都の後援を得られたこと、特に町田は一つの患者会の取組みとして五十一人を集め実施したことなど大いに成果のあったキャンペーンであったと評価できます。

こうした運動の結果、東京都における十月の腎臓病提供登録者は一三一人、十一月が一六二人と通常の月の約三倍に上り一定の成果を挙げました。なお、昨年十二月末現在の東京都における腎臓病提供登録者数は一四、一〇七人。同時期の全国各バンクへの登録数は二四八、四二二人に上っています。

(4)今年度も二つの国会請願署名募金運動に取り組み

東腎協は今年度も全腎協の「腎疾患総合対策の早期確立」を要望する署名・募金とJPCの「難病患者などの医療と生活の保障」を要望する署名・募金の二つの国会請願署名・募金運動に取り組みました。

全腎協の国会請願運動は今年度で十九回目を迎え、これまで多くの腎疾患対策の前進を勝ち取ってきました。また、JPCの国会請

願運動は昨年六月、衆議院本会議で九項目とも採択されるという実績を納めました。こうした成果や実績が皆さんからのご理解を得て、今年度も多くの方のご協力をいただいた結果、署名・募金ともに過去最高を記録しました。全腎協の署名名数は三四、四七三人、JPCの署名名数は三三、五〇八人でした。また両請願署名の募金額は二、八四一、七六〇円でこのうち九七六、〇〇〇円を全腎協に納入しました。(二月十八日現在)

(5)国立王子病院の存続・拡充請願署名に取り組み

東腎協加盟の国立王子病院腎友会や王子病院をセンター病院とする透析施設の患者会など九患者会は昨年八月、「王子病院を存続」、高度総合病院として整備拡充を求め、北区議会への請願署名運動に取り組みました。署名数は六四七人で他の署名と合わせて総計一、〇〇〇人が昨年十一月、北区議会委員会に提出されましたが、賛否同数で「継続審議」扱いとなりました。

国立王子病院は、厚生省の全国の国立病院・療養所の統廃合によ

る再編成計画で立川市に移転・廃止され、国立立川病院と統合の上、防災医療施設として建設される構想になっています。

王子病院の腎センターは昭和四十六年二月に設置され、透析治療の歴史も古くその医療レベルも高いと評価されています。そして、王子病院で治療を受けている透析患者や、王子病院をセンター病院とする透析患者は二二〇人以上もいます。もし、移転が本決まりになればこれらの患者は将来透析ができなくなり、他の病医院を探さなくてはならない事態になります。

東腎協はこれまで国立王子病院腎友会などと協力して、王子病院存続のため地元出身の国會議員への要請、東京都衛生局への要請、「存続・拡充集会」への参加などの運動をしてきました。今後も東腎協は透析医療を守るために、機会ある毎に国立王子病院の存続・拡充運動に取り組みしていきます。

(6)腎臓病を考える都民の集いを二回開催

今年度十回(通算十一回目)の腎臓病を考える都民の集いは昨年

三月二十六日、東腎協、東京都、東京師範会、ライオンズクラブ、国際協会三三〇一A地区の四団体の主催により中央区・中央会館において開催されました。

「都民の集い」は松村満美子さんの総司会により主催団体の挨拶の後、多摩老人医療センター医長・中川成之輔先生による「腎臓病の早期発見と病気の管理」と虎の門病院腎センター部長・大坪修先生「腎臓移植について」と題する講演がありました。講演後のアトラクションはライオンズクラ



中央部・高尾山ハイイク(10月)

ブの協力により、菅原やすのりさんの「ふれあいトク&コンサート」を行いました。

また、会場ロビーで行った腎臓病医療相談は東京医科大学第二内科医長・秋葉隆先生及び武蔵野赤十字病院内科・安藤亮一先生、生活相談には東京医療社会事業協会のMSW二人の協力を得ました。なお東腎協からは会員・家族ら一五人が参加しました。さらに、今年度二回目(通算三回目)の「都民の集い」は昨年十一月二十六日、中野区・中野文化



青年交流ホウリング(1月28日)

センターで開催しました。この「都民の集い」の主催団体は、前回の四団体にさらに腎臓移植普及会が加わり五団体となりました。

内容は、松村満美子さんの総司会により主催団体の挨拶の後、「腎臓病を克服するために」と題したパネルディスカッション方式で行われました。パネラーとしては小児科医の立場から日本大学医学部教授・北川照男先生、移植医の立場から東京医科大学八王子医療センター長・小崎正巳先生、内科医の立場から順天堂大学医学部



学習交流会(9月17日)

教授・小出輝先生、それに患者の立場から東腎協の泉山知威会長が加わりました。パネルディスカッション後のアトラクションは世田谷区吹奏交響楽団のコンサートが行われました。

また、この回の腎臓病医療相談は順天堂大学医学部講師・海老原功先生及び、同大学医学部講師・窪田実先生、生活相談は東京医療社会事業協会のMSW二人の協力を得ました。東腎協からの参加者は一一人でした。

「都民の集い」は、昭和六十二



腎臓病医療相談会(4月30日)

年十一月に東腎協の結成十五周年を記念して企画されて以来、これまでに主催団体も五団体に増え、また、内容もより充実してきました。特に通算三回目は東京都として正式に予算化したもので、衛生局長も初めてお見えになりました。一般の方への腎臓病の知識普及のために今後と続けていく必要があります。しかし、一方ではいくつかの反省点も出ています。特に第三回目は一般の参加者が極端に少なく、いかに一般市民の参加を得るかという問題が今後の最大の課題となりました。

(7) 会員数四、三七六人に

今年度、東腎協ではボスター、入会のしおりを作成して、未組織病院訪問を行うなど積極的に会員拡大に取り組んできました。昨年九月から十二月までの四カ月で一六一人の会員を増やしました。

しかし、今年度前半については昭和六十三年より会員を減らす患者会もあり、全体としては昨年度末の四、二一人（患者会数七十三）から一年間で四、三七六人（患者会数七十八）に増えました。が、目標を達成できませんでした。

今後は今年度後半の実績をもとに未組織病院の訪問を強化し、会員拡大をさらに進めていきます。会員皆さん一人ひとりのご協力をお願いいたします。

(8) 職安からの就職者が五十人

戦後最長的好景気と言われる中で労働者は昨年十月、「身体障害者及び精神薄弱者の雇用状況（六月一日現在）」をまとめ発表しました。これによると雇用障害者数は前年に比べ大幅な増加を見ましたが、常用労働者数も増加したため実雇用率は一・三二%と〇・〇一ポイントの上昇にとどまりました。

雇用率（一・六%）未達成企業の割合は、四八・四%と前年に比べ〇・一%改善されました。

このような中で東腎協は、都・労働経済局への腎機能障害者の雇用拡大を運動してきました。その結果、昭和六十三年における都内十七の公共職業安定所の職業斡旋状況は、昨年一年間に求職した人が一七三人で、これに対する紹介が十七一人、就職が決まった人は五十人でした。内訳は、事務十

八人、技能工二十三人、販売五人、専門技術二人、保安一人となっています。

一方、「東京都及び特別区における身体障害者を対象とする別枠採用」は、これまで特別区で三十二人が採用になっていますが、六十三年度はさらに七人が採用になっています。また、東京都はこれまで移植者が二人採用になっていますが、透析患者などは採用されていません。

(9) 神代植物公園での会員交流会に一六〇人が参加

東腎協では今年度も会員交流を二回開催しました。多摩での会員交流会は昨年六月四日神代植物公園で開かれ、ビンゴゲームや深大寺そばをとりながらの体験発表を行いました。この交流会は今まで最高の一六〇人も会員家族が参加し大変盛況でした。

二十三区での会員交流会は、昨年十一月五日、北区・王子の東京都障害者スポーツセンターで行われ五十六人が参加しました。この交流会では、昭和六十二年度から行っているテーマ別の学習交流会を開催しました。テーマは、A、生

活、B、長期透析と合併症、C、会活動について、D、青年男女の諸問題、E、婦人の諸問題、F、非透析（慢性腎症）の六つのグループに別れて話し合いが持たれました。今回は同時に年金相談コーナーを新設し、五人の会員からの相談を受けました。会場は交通の便があまり良くありませんでしたが、明るく広い会場で好評でした。会員交流会は昭和五十八年度から年二回開催を定例化してきました。しかし、後述のブロック単位の交流会が一般の会員や個人会員も参加ができるものに改められたことから、その内容、開催回数、位置づけの検討が迫られています。

(10) ブロック単位患者会交流会を活発に展開

東腎協では昭和六十二年度から各ブロック内の患者会活性化のためにブロック単位の患者会役員交流会を行ってきました。

しかし、役員以外の方の参加希望や、個人会員にも患者会活動を知ってもらうことなどから、今年度からは患者会役員以外の会員、個人会員も参加できるブロック単

位患者会交流会に改められました。

多摩部患者会交流会は昨年五月七日、国分寺勤労福祉会館に三十人が参加して懇談会形式で行われました。また、十月二十九日には、老神温泉とリンゴ狩りバス旅行を行い四十五人が参加しました。

区北部患者会交流会は七月二日、豊島区民センターに二十五人が参加して、東腎協の活動の報告や予定、自由懇談などを行いました。また、九月二十四日の袋田の滝バス旅行には四十五人が参加しました。

区東部患者会交流会は七月九日、飯田橋セントラルプラザに二十七人が参加して、東腎協の活動の報告や予定、自由懇談等を行いました。また、本年一月二十一日には上野ターミナルホテルに二十一人が参加して新年会を行いました。

区南部患者会交流会は七月十六日、目黒区・東山社会教育館に二十七人が参加して東腎協の活動の報告や予定、自由懇談を行いました。また、九月二十四日の浜離宮散策には十二人が参加しました。

区中央部患者会交流会は七月三

十日、飯田橋セントラルプラザに三十三人が参加して東腎協の活動の報告や予定、自由懇談等を行いました。また、十月二十二日には高尾山へのハイキングを行い三十人が参加しました。

各ブロックではこのように活発な活動を展開し、東腎協の活動の予定などの伝達、患者会の情報交換、個人情報交換、交流・親睦に大きな成果を挙げました。

(11) 念願の青年部ついに結成

一昨年開かれた関東ブロック青年交流会で関東各部・県で青年部結成に向けて活動を進め、青年の交流を図ることが提案されました。東腎協では昨年開かれた第十七回総会の活動方針で青年部、婦人部結成の検討を新たに提案し、承認されました。

東腎協では各腎友会の有志を含めた青年婦人部準備委員会を設け、青年部の結成に向けて話し合いを進めてきました。

本年一月二十八日、青年を対象にした東腎協青年交流会ポウリング大会を高田馬場シチズンボウルで開催し、六十人が参加しました。会場は若い熱気にあふれ、健常者

に負けない高得点の連続でした。ポウリング大会終了後、集客室で青年部の結成集会が開かれ、青年らしい活動を積極的に進めていくことを確認しました。青年部結成集会、ポウリング大会はスムーズな進行で大変盛り上がりしました。

(12) 学習交流会を開催

幹事・常任幹事を対象とした学習交流会は昨年九月十七日、三田の障害者福祉会館において第二十三回幹事に引き続き、六十五人の参加を得て開催されました。

この学習会では心臓病の子供を守る会前会長・小林登さんに、「命の大切さと患者運動」と題する講演をお願いしました。小林さんは心臓病のお子さんをお持ちで、昭和四十四年に「守る会」に入会して以来の会との関わり、運動、そしてお子さんの闘病生活など熱心に語られ、私たちに深い感銘を与え、と同時に、改めて運動の大切さを確認しました。

(13) 委員会活動も活発に

今年度は昨年度より導入した委員会体制をさらに充実し、東腎協

活動を円滑に進めました。各委員会では随時会議を開催し、具体的な活動について話し合いました。会員拡大・交流委員会は東腎協会員交流会の計画、加盟患者会、未組織病院の訪問計画を検討し、積極的に活動を進めました。

教宣委員会は、東腎協ポスター、入会のおしりの作成に取り組みました。また、腎キャンペーン、学習交流会、腎臓病を考える都民の集いについて、企画、検討しました。

腎疾患対策推進委員会は昨年度作成した「腎疾患総合対策を推進するために」をもとに腎疾患総合対策の各項目について分担報告者の報告をもとに具体的な進め方についての検討を行っています。編集委員会は年間計画を検討し、随時機関誌の紙面について話し合っています。

青年婦人部準備委員会は青年婦人部の結成を検討するために設けられ、活動を進めました。

(14) 全腎協活動へも積極的に参加

全腎協第十九回総会は昨年五月二十一日、埼玉県大宮市のソニッ

クシティで開催され全国から会員・家族ら約一、六五〇人が参加しました。東腎協においても最大限の支援体制をとり、バスをチャーターするなどして一六六人が参加しました。

全腎協関東ブロック会議は今年度も二回開かれました。一回目の会議は昨年七月十五・十六の両日にわたり群馬県猿ヶ京で開かれ東腎協から二人が参加しました。

二回目の関東ブロック会議は昨年十一月二日・三日の両日、東京・中野サンプラザで開かれ東腎協からは九人が参加しました。これらの会議では全腎協分担金引き上げ問題、神奈川県組織復旧問題、透析患者の高齢化問題などが話し合われました。

また、関東ブロック青年交流会が昨年九月九日・十日の両日、栃木県日光湯元で開かれました。東腎協からは五人が出席して結婚問題、就職問題等について語り合ったほか湯ノ湖周辺のハイキングで交流を深めました。

全腎協の役員としては泉山会長が相談役として、一ノ瀬副会長が関東ブロック協議会代表として、高橋副会長が幹事としてそれぞれ

の立場で活動してきました。

(15)機関誌『東腎協』の発行

東腎協は編集委員を七人に増し、充実して、機関誌『東腎協』を定期発行し、会員の体験や意見を掲載した。また、その役割を果たしました。

七十七号では東腎協総会の模様、腎臓病を考える都民の集い、東京都における腎疾患総合対策についてお知らせしました。七十八号では東腎協第十七回総会の記念講演、北里大学医学部教授・腎セクター部長・酒井科先生による「慢性腎疾患と透析の合併症」を特集しました。

七十九号では青年婦人部の活動の様子、第二十五回移植学会総会公開シンポジウムの概略報告を掲載し、石川勇吉前会長の追悼特集しました。八十号では、運賃割引制度の内部障害者への適用、腎キャンペーン、腎臓病を考える都民の集いの特集し、東腎協学習交流会、小林事務局長の講演（最終回）を掲載しました。

(16)他団体との連携

日本患者・家族団体協議会第四

回総会は昨年六月四日、東京・五反田で開かれ東腎協から二人が参加しました。また、十二月二十五日に行われた平成二年度予算復活要請行動にも二人が参加しました。

東京難病団体連絡協議会は東腎協の石川相談役が副会長としてその運営に当たってきましたが、昨年七月に亡くなられ、草間事務局次長がその後を継いで副会長として難病検診や都庁各局、都議会各会派への要請陳情活動をしてきました。

東難連主催の腎臓病無料診療相談会は昨年四月三十日、飯田橋セントラルプラザで開かれ、二十四人の方が受診しました。相談役としては日本大学医学部助教教授・高橋進先生、同講師・奈良勇爾先生、同講師・吉川弓夫先生、防衛医大講師・吉沢信行先生の協力を得ました。東腎協からは役員十四人が出席して会の運営に当たりました。

三、おわりに

東腎協は今年度も多様な活発な活動を進めてきました。

国や東京都に対する運動は前述

した通り、大きな成果を挙げることができました。

腎臓病を考える都民の集いは今年度二度、会員交流会もブロック別の患者交流会もそれぞれ二度開催しました。こうした東腎協の活動に参加した会員・家族などは延べ千五百人に達しようとしています。

このような活動の活発化に対して準備や後始末などを担当する事務局体制の強化も検討が必要になってきました。また、全腎協が予定している分担金の引き上げに東腎協としての対応も考えていかなければなりません。

今年度ボスターや入会のしおりを作成して力を入れた会員拡大は思った成果が得られず、今後とも会員一人ひとりのご協力をいただき努力していくことが必要です。種々の課題を残しながらもみんなで頑張った一年で、また、それに見合う成果も得られた一年であったと評価できます。

平成元年度主な活動記録

〔平成元年〕

3月

- 2 『東腎協』No76「腎臓病を考ふる都民の集い」案内状発送
- 3 「腎臓病を考ふる都民の集い」への参加を渋谷保健所に要請
- 4 三役会開催（出席9人）
- 5 臨時関東ブロック会議開催（出席者2人）
- 7 「腎臓病を考ふる都民の集い」、第17回総会の案内状を各患者等へ発送
- 9 「腎臓病を考ふる都民の集い」相談医依頼状を発送
- 第17回総会案内状を都庁各局、都議会へ送付
- 10 会計伝票検印
- 12 会計監査（出席者5人）
- 14 「腎臓病を考ふる都民の集い」への参加を足立区・東和保健所へ要請
- 15 臨時関東ブロック会議開催（出席者2人）
- 17 医師会及びライオンズクラブ宛発送
- 19 第17回総会案内状を都・医師会及びライオンズクラブ宛発送
- 24 常任幹事会報告作成
- 25 東難連運営委員会出席
- 26 「腎臓病を考ふる都民の集い」開催
- 27 江東区城東保健所主催腎臓病講演会出席
- 28 国際障害者年東京都連絡

4月

- 出席
- 2 東腎協第17回総会開催（参加者153人）
- 4 3月分決算
- 8 三役会議開催（出席者9人）
- 10 東腎協規程集作成
- 14 JPC国会請願行動参加（出席者7人）
- 15 東難連運営委員会出席
- 16 第18回常任幹事会開催（出席者22人）
- 17 教宣委員会開催（出席者5人）
- 18 会員拡大・交流委員会開催（出席者7人）
- 19 全腎協No106総会議案集発送
- 20 東腎協会長退任・就任の挨拶状発送
- 21 「東腎協」No77患者会分発送
- 22 教宣委員会開催（出席者7人）
- 23 多摩部日程等打合せ（出席者5人）
- 24 個人会員宛「東腎協」No77、会費納入のお願い、全腎協総会案内発送準備
- 25 個人会員宛「東腎協」No77、会費納入のお願い、全腎協総会案内発送
- 26 会員交流会現地下見（出席者6人）
- 27 都庁各局へ会長あいさつ回り
- 27 虎の門病院腎センターへ会長就任あいさつ
- 30 腎臓病医療相談会開催（受診者24人）
- 青年・婦人部準備委員会開催（出席者7人）
- あげぼの友の会総会出席（出席者3人）
- 5月
- 1 「全腎協」No106患者会宛発送
- 鹿見島、福岡、香川、広島の名定期総会へメッセージ発送
- 第19回常任幹事会開催案内状発送
- 4月分会計報告作成
- 東難連運営委員会出席
- 多摩部患者交流会開催（参加者30人）
- 14 腎疾患対策推進委員会開催（出席者6人）
- 15 編集委員会開催（出席者4人）
- 15 北海道総会、東京肝臓病の会総会へメッセージ発送
- 20 全腎協交流会参加（出席者11人）
- 21 全腎協第19回総会参加（東腎協参加者16人）
- 22 茨城、滋賀、兵庫、岐阜、栃木の各総会へメッセージ発送
- 27 虎の門病院腎センターへ会長就任あいさつ
- 27 4月分会計報告作成
- 27 第19回常任幹事会開催（出席者24人）
- 9 高根県総会へメッセージ
- 9 東京都医師会へ会長就任のあいさつ
- 「入会のしおり」作成
- 14 第19回常任幹事会開催（出席者6人）
- 14 編集委員会開催（出席者4人）
- 15 北海道総会、東京肝臓病の会総会へメッセージ発送
- 20 全腎協交流会参加（出席者11人）
- 21 全腎協第19回総会参加（東腎協参加者16人）
- 22 茨城、滋賀、兵庫、岐阜、栃木の各総会へメッセージ発送

- 23 高知県総会へメッセージ
発送
- 24 「東腎協ニュース」No.6
作成
徳島県総会へメッセージ
発送
- 25 都職労自治研修会出席
「東腎協ニュース」No.6
発送
- 26 年輪別患者数調査票発送
福島、静岡の各総会へメ
ッセージ発送
- 27 中野区役所訪問「障害者
等のための防災対策推進
計画」について説明を受
ける
- 31 福祉、労働経済、総務、
教育庁、来年度予算要望
書提出
- 6月
- 1 来年度厚生省予算要請行
動参加
養育院へ来年度予算要望
書提出
- 2 ライオンズクラブ国際協
会年次大会会場へ献腎の
パネル持込
- 3 東難連運営委員会出席
神代植物公園で会員交流
- 4 会開催(参加者60人)
JPC第4回総会出席
(2人)
立川第一相互病院腎友会
学習会出席
- 6 5月分会計処理
- 7 富山県第19回総会へメッ
セージ
- 8 石川県第18回総会へメッ
セージ
- 10 年輪別患者数調査集計
5月分会計報告作成
教宣委員会開催(出席者
8人)
- 12 北部患者会交流会案内状
を各患者会宛発送
- 13 山梨、群馬、千葉の各総
会へメッセージ発送
- 15 活動状況調査票集計
北部患者会交流会案内状
発送
- 16 会員拡大・交流委員会開
催(出席者9人)
第120回常任幹事会開催
(出席者17人)
- 19 沖縄県総会へメッセージ
機関誌「東腎協」No.78編
集
- 20 常任幹事会報告発送
スライド整理
- 21 平成2年度東京都予算に
関する都庁要請(出席者
14人)
6月分会計記帳
- 27 7月
- 1 東難連運営委員会出席
北部患者会交流会開催
(参加者24人)
- 2 新潟県総会へメッセージ
発送
- 3 東難連主催平成2年度都
・予算要請行動(出席者
3人)
障害者福祉会館後期利用
申込
- 4 6月分会計記帳
「東腎協」No.78校正
「全腎協」No.107発送
東部患者会交流会開催
(参加者27人)
- 5 相談役・石川勇吉氏急逝
石川勇吉宅弔問
第16回機関紙「ミニコミ
コンクール表彰式出席
席
15
16 関東ブロック会議出
席
全国会長会議出席
南部患者会交流会開催
(参加者27人)
- 9 青年・婦人部準備委員会
打合せ(出席者3人)
「東腎協」No.78患者会宛
発送
「東腎協」No.78個人会員
宛発送
- 17 第120回常任幹事会開催
(出席者17人)
- 20 都・衛生局と腎移植推進
キャンペーン及び腎臓病
を考える都民の集い打合
せ(出席者5人)
労働経済局、福祉局、教
育庁訪問資料受領
中央部患者会役員交流会
(参加者32人)
- 23 会館拡大で須田クリニッ
ク、小池医院、西曙橋ク
リニック訪問
- 25 会館拡大で東郷坂クリニ
ック訪問
宮城県第18回総会へメッ
セージ
- 27 神経系難病医療相談会出
席
青年・婦人部準備委員会
開催(出席者11人)
区中央部患者会交流会秋
季交流会打合せ(出席者
9人)
- 8 7月分会計報告作成
東京都障害者福祉会館後
期申込分調整会議出席
61年8月提出の「腎疾患
- 11 総会対策」確立を求める
都議会請願の廃案で、再
提出手続
三役・教宣委員会合同会議
(出席者7人)
会員拡大・交流委員会開
催(出席者8人)
会員拡大で中橋橋南診療
所訪問
国立王子病院の存続等を
求める請願書を8患者会
宛発送
- 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

委員会出席

9月

- 1 都職労、平成2年度都予算要請
- 2 東難連運営委員会出席
- 3 第122回常任幹事会開催 (出席者24人)
- 4 第8回腎疾患対策推進委員会開催 (出席者9人)
- 5 多摩部患者会交流会の交流会について打合せ (出席者7人)
- 6 会員拡大で日赤医療センター、西条クリニック訪問 (3人)
- 7 会員拡大で渋谷パークリニック、並木橋クリニック、道玄坂クリニックの各院長宛、入会のしおり等を発送
- 8 「全腎協」No108発送
- 9 平成元年度上期決算報告書作成
- 10 第25回移植学会総会公開シンポジウム「日本の臓器移植の現状を考える」出席 (4人)
- 11 「腎臓病を考える都民の

集い」パネラー出演の北川、小出、小崎の各先生へお願い文発送

10月

- 12 第25回移植学会総会公開シンポジウム「臓器提供—何が問題か」(出席4人)
- 13 第23回幹事会・学習交流会開催 (参加者65人)
- 14 「集い」協力依頼状を東京都医療社会事業協会宛発送
- 15 会員拡大で橋本病院、玉川病院訪問 (2人)
- 16 区北部患者会交流会・袋田の滝・袋田温泉秋の親睦バス旅行 (参加者45人)
- 17 区南部患者会交流会・浜離宮散策と隅田川水上バスで行く浅草 (参加者15人)
- 18 愛腎協結成20年記念大会にメッセージ発送
- 19 「東腎協」No79編集
- 20 「集い」協力依頼状をMSW高山・高久の両氏に発送
- 21 CAPD患者医療費自己負担実態調査表発送
- 22 「東腎協」No79編集

- 3 東難連肝臓病医療相談電話受付
- 4 新宿警察署腎キャンベーン道路使用許可申請
- 5 八王子警察署腎キャンベーン道路使用許可申請
- 6 腎移植推進キャンベーン
- 7 及び腎臓病を考える都民の集いポスターを都内150床以上の病院宛発送
- 8 9月分収支報告作成
- 9 町田警察署腎キャンベーン道路使用許可申請
- 10 東難連運営委員会出席
- 11 89年東京医療研究会集會参加
- 12 第123回常任幹事会開催 (出席者19人)
- 13 「東腎協」No79校正
- 14 八王子警察署へ道路使用許可書受取、読売、毎日新聞社八王子支局キャンベーン記事掲載依頼
- 15 全腎協・JPC国会会請願署名用紙、JR割引ハガキ要請速動のお願い文、腎臓病を考える都民の集いポスター発送

11月

- 1 豊生会・上野一磨さんの
- 2 東難連運営委員会出席
- 3 腎バンク登録者拡大街頭キャンベーン開催 (参加者 新宿70人、八王子94人、町田49人)
- 4 腎臓移植推進キャンベーン開催 (参加者80人)
- 5 神奈川県腎友会と全腎協及び関東ブロック懇親会出席
- 6 個人会員宛全腎協・JPC国会会請願署名用紙発送作業・発送
- 7 「東腎協」No79患者会分発送
- 8 21-22 全腎協幹事会出席 (3人)
- 9 中央部患者会交流・高尾山ハイキング (参加者30人)
- 10 第123回常任幹事会開催 (出席者16人)
- 11 編集委員会開催 (出席者2人)
- 12 会員拡大・交流委員会開催 (出席者8人)
- 13 愛媛県総会(メッセージ)
- 14 「腎臓病を考える都民の集い」開催 (東腎協参加者115人)

12月

- 1 告別式に参列
- 2 大阪総会(メッセージ)発送
- 3 東難連運営委員会出席
- 4 全腎協運営委員会出席
- 5 会員交流会開催 (参加者56人)
- 6 会員拡大で、代々木山下病院、吉川内科小児科病院訪問
- 7 来年度都予算社会党要請 (出席者6人)
- 8 三役会議開催 (出席者7人)
- 9 大山中央クリニックより寄付金25万円を受領
- 10 第124回常任幹事会開催 (出席者16人)
- 11 編集委員会開催 (出席者2人)
- 12 会員拡大・交流委員会開催 (出席者8人)
- 13 愛媛県総会(メッセージ)
- 14 「腎臓病を考える都民の集い」開催 (東腎協参加者115人)

213 第26回関東ブロック協議会開催(出席者36人)

3 東海病院ひまわり会総会出席

大田病院患者会総会出席
青年婦人部準備委員会開催(出席者15人)

7 11月分会計報告作成

8 「東腎協」No80編集

9 11月分会計報告作成

12 事務局会議(出席者3人)

14 青年・婦人部ボウリング大会会場下見(2人)

15 江東区城東保健所腎臓病患者懇親会出席

都・病院管理部へ駒込病院腎不全センターへの臨床工学校士配置に関する要望書持参

都職労中央執行委員会組織共闘部でカンパ金20万円受領

17 第126回常任幹事会開催(出席者17)

青年・婦人部ボウリング大会案内状及び東部患者会交流会案内状発送

90年度予算復活要請行動参加(2人)

25 大掃除

26127 「全腎協」No110発送作業

28 「全腎協」No110、J.R等の割引き制度適用のための身障者手帳書き換え案内、関東ブロック会議報告発送

平成2年

1月

5 常任幹事会開催案内状、平成2年度役員推薦状発送

6 「東腎協」No80入稿

9 12月分決算

10 都庁年始(2人)

11 東京都障害者福祉会館定期利用申込

11 あかつき印刷で「東腎協」No80校正

12 12月分会計報告作成

1314 全腎協運営委員会出席

14 会員拡大・交流委員会開催(出席者7人)

17 第126回常任幹事会開催(出席者21人)

17 常任幹事会報告、第24回幹事会案内、国会請願書

18 名・募金督促状発送
江東区城東保健所腎臓病患者懇親会出席

27 都職労・都庁職主催90年度東京都予算要求実現「都民団体要求交流懇談会」出席(出席者3人)

19 総会会場として杉並区立高円寺会館使用申込

21 区東部患者会交流会新年宴会開催(参加者21人)

22 「東腎協」No80発送

22 東大泌尿器科教授阿曾佳郎先生訪問、腎臓病医療相談会への協力を要請

23 青年・婦人部ボウリング大会準備及び賞品購入

23 全腎協協理会長へ分担金引き上げ理由説明の際の礼状を発送

24 常任幹事会開催案内状、国立王子病院存続署名運動の結果報告、全腎協事務局ニュースNo111全腎協東腎協の活動予定発送

24 下村泰参議院議員事務所訪問、総会記念講演出演を依頼

24 2年度東京都予算原案における腎不全対策予算に

27 ついて電話で問合せ

27 東難連運営委員会出席

28 青年交流会ボウリング大会(参加者60人)

2月

1 医療相談会協力医師の東大助教・東原先生並びに同小児科・五十嵐先生へ協力依頼状発送、会費

2 国会請願署名整理、会費未納個人名へ督促状発送

3 一月分収支報告作成

4 第127回常任幹事会開催

5 活動報告、活動方針案の修正

7 常任幹事会報告発送

7 会員拡大資料作成、スライド作成のための行事別振り分け

8 車難連の東京都住宅局、衛生局への要請行動出席

9 国会請願署名整理

10 障害者福祉会館前期利用分調整会議出席

13 平成元年度仮決算報告作成

13 総会議案書入稿

幹事会資料作成

15 東腎協ニュースNo8作成

18 第24回幹事会開催(参加者47人)

18 青年婦人部準備委員会開催(出席者13人)

18 編集委員会打ち合わせ

文書発言も

できます

東腎協規約第六条で、総会にたいして文書による発言も認められています。なお、総会議案にたいする意見のある方は、別紙の発言用紙に書いて、三月末日(必着のこと)までに東腎協へお送り下さい。

送り先

〒161 東京都新宿区下落合3

15-29 田沼ビル

東腎協事務局

平成二年度活動方針(案)

本年二月二十三日に発表された平成二年度東京都予算・知事原案は、税収の伸び悩みもあって一般会計の予算規模は六兆六千六百三十億円で前年度に比べ七・三%の伸び率となりました。

その内訳は、建設事業費を中心とする投資的経費が前年度比二・三・五%増と大幅な伸びを示す一方で、給与関係費は五・八%と平均以下に押さえられており、こうした職員定数抑制のあたりを受けて、透析医療に必要な臨床工学校士一人の採用もままならぬという矛盾も出ています。

このような状況の中でも腎不全対策費は昨年度に比べて倍増しています。また、これまでの東腎協の活動実績を踏まえた「腎臓移植推進キャンペーン」、「腎臓病を考える都民の集い」の二つの協同事業も東京都で予算化され、恒例となりました。

内部の活動で会員の親睦・交流については、誰でもが参加できるようにになったブロック別の患者会

交流会が、従来の会員交流会により延べの参加者数でも上回り、大きなウエイトを占めるようになってきました。

また長期透析患者の合併症対策、老人透析患者の問題、糖尿病性腎症からの透析導入患者の増加などの問題も切実で、東腎協でも引き続き話し合いを進めていくことが必要です。

活動報告で報告したとおり平成元年度は、腎疾患総合対策に大きな前進がありました。しかし、私たちが取り巻く状況は依然と厳しく、腎臓病の研究や予防から早期発見・早期治療、人工透析治療や腎移植対策から社会復帰に至る「腎疾患総合対策」の確立は急務となっています。東腎協は今年度も「腎疾患総合対策」の確立を目指して、次のような運動を進めます。

一、活動目標

1、腎臓病の研究、予防、治療から社会復帰まで含めた腎疾患総合対策を確立するため運動

を進めます。

2、腎提供者確保のための運動をすすめるとともに、私たちが会員家族の腎バンク登録をすすめます。

3、医療、福祉制度の全国的な問題に対しては、積極的に全腎協とともに運動をすすめます。

4、国立王子病院の透析医療を存続させるため、統廃合に反対の運動をすすめます。

5、「腎臓病を考える都民の集い」を開催します。また、昨年十一月に開催した第三回「腎臓病を考える都民の集い」の報告集を発行します。

6、腎臓病の知識普及に努めます。

7、老人透析患者や合併症を持つ透析患者の対策について検討をすすめます。

8、東難連と連携、協力して医療と福祉のための運動をすすめます。

9、会員交流会とブロック別の患者会交流会を開きます。

10、昨年度結成された青年部の活動を活発にすすめます。

11、会員拡大をはかり、次の総会までに四、六〇〇人を目標と

します。

12、幹事、常任幹事を対象とした学習会を開きます。

13、機関誌「東腎協」を定期発行します。さらに、速やかな情報伝達のために「東腎協ニュース」を随時発行します。

14、要望事項実現のため、都庁要請、都議会要請を行います。

15、全腎協の分担金引き上げに伴い、平成三年度からの会費値上げを検討します。

16、事務局体制の強化を検討します。

17、中、長期目標については、展望委員会などで継続的に論議を深めます。

二、東京都及び都議会各党に対する陳情、要請活動

(1) 医療体制の整備に関する要望

1、腎臓病の研究、予防、治療から社会復帰まで含めた腎疾患総合対策を確立すること。

2、腎移植普及のため、広報活動の強化など腎臓提供者確保体

- 2、制を確立すること。
- 3、すべての都立病院に腎外来を設置し、外来透析及び夜間透析を実施、拡充すること。
- 4、都立病院内に腎臓病の早期治療から腎移植手術まで可能な総合腎センターを設置すること。

- 5、都立大久保病院については、腎臓病の早期治療から腎不全治療に対応できる腎センターを設置し、健康プラザ内他施設との連携による腎疾患総合対策を推進すること。
- 6、都立病院に臨床工学士を配置すること。当面の緊急課題として都立駒込病院の腎不全センターに臨床工学士（透析技術士）を配置すること。

- 7、老人医療センター内に高齢者腎不全センターを設置すること。
- 8、多摩市に建設予定の地域病院で、外来透析及び夜間透析を実施すること。
- 9、大島、八丈島などの島しよでも透析治療が受けられるようにすること。
- 10、乳幼児、児童、生徒、学生、勤労者、家庭婦人、自営業者

- 11、などに対する検尿を完全実施し、管理体制を確立すること。
- 12、小中学生については、「腎臓手帳」の発行による管理体制を推進すること。
- 13、糖尿病性腎症の透析患者を増やさないため、糖尿病性腎症の知識普及や予防、管理体制を推進すること。

- 14、災害時の緊急透析治療体制及び病院までの交通を確保すること。

(2) 医療費、生活保障に関する要望

- 1、慢性腎炎患者の医療費を公費負担すること。
- 2、内部障害者は、四級まで医療費を公費負担すること。
- 3、心身障害者福祉手当を増額し、所得制限を引き上げること。
- 4、透析患者を父とする家庭への児童扶養手当の認定を促進すること。
- 5、内部障害者も有料道路料金の割引制度の対象とするよう国等へ働きかけること。
- 6、東京都の職員に人工透析をしている障害者を採用すること。

- 7、腎機能障害者の雇用を促進すること。
- 8、区市町村で福祉対策を拡充す

- 9、全腎協結成二十周年記念東京大会への助成をはかること。

平成二年度スローガン案

- 一、腎臓病の研究、予防、治療から社会復帰にいたる腎総合対策の確立を！
- 二、腎総合センターの設立を！
- 三、慢性腎炎患者の医療費公費負担を！
- 四、国立王子病院の存続を！
- 五、国立病院及び都立病院で夜間透析の実施を！
- 六、腎バンク登録の拡大を！
- 七、働ける腎臓病患者に社会復帰の道を！
- 八、内部障害者にも有料道路料金の割引適用を！
- 九、区市町村での福祉対策の充実を！
- 十、活動内容を充実し、四千六百人の東腎協を！

全 體 概 況 - 日 本 郵 政 国 会 青 年 團 員 名 簿 登 録 者 一 覧 表 (集 計 十 六)

平成2年2月18日現在

| № | 姓 名 | 会 員 種 別 | 新 規 | 退 会 | 人 数 | 年 齢 | % | 姓 名 | 会 員 種 別 | 新 規 | 退 会 | 人 数 | 年 齢 | % |
|----|--------------|---------|-----|-----|-----|-------|-------|---------|-----------|---------------|-----|--------|--------|-----------|
| 1 | 愛知会 | | | | 16 | 1,315 | 1,302 | 30,140 | 45 | 46 | 1 | 428 | 424 | 0 |
| 2 | あけぼの会の会 | | | | 135 | 206 | 214 | 11,400 | 47 | 立川務一相互病院腎友会 | | 588 | 585 | 34,380 |
| 3 | あけぼのクリニック友の会 | | | | 5 | 85 | 85 | 0 | 48 | 多摩川七郎事務所むまわり会 | | 593 | 580 | 23,146 |
| 4 | 青山会 | | | | 5 | 70 | 70 | 5,000 | 49 | 藤州病院腎友会 | | 982 | 982 | 41,404 |
| 5 | 天聲腎友会 | | | | 6 | 85 | 85 | 0 | 48 | 藤州病院腎友会 | | 982 | 982 | 41,404 |
| 6 | 瓶田藤子クリニック腎友会 | | | | 74 | 213 | 211 | 18,418 | 50 | 藤州病院腎友会 | | 360 | 360 | 14,000 |
| 7 | 和泉クリニック腎友会 | | | | 24 | 130 | 110 | 11,000 | 51 | 月島サテライト腎友会 | | 383 | 387 | 68,500 |
| 8 | 坂園内科腎友会 | | | | 50 | 165 | 155 | 10,000 | 52 | 帝京大学病院腎友会 | | 137 | 137 | 23,000 |
| 9 | 弓尾泌尿腎友会 | | | | 47 | 280 | 290 | 10,000 | 53 | 東京北大病院腎友会 | | 68 | 68 | 5,000 |
| 10 | 入谷クリニック腎友会 | | | | 22 | 281 | 309 | 33,000 | 54 | 東邦病院腎友会 | | 330 | 330 | 13,620 |
| 11 | 上野のぼす会 | | | | 78 | 479 | 1,200 | 100,000 | 55 | 中野病院腎友会 | | 30 | 30 | 0 |
| 12 | 大田病院患者会 | | | | 37 | 479 | 480 | 16,300 | 56 | 野野原クリニック腎友会 | | 90 | 104 | 12,000 |
| 13 | 大橋クリニック友の会 | | | | 30 | 193 | 209 | 30,000 | 57 | 長瀬三和クリニック腎友会 | | 201 | 201 | 3,750 |
| 14 | 大山中央腎友会 | | | | 42 | 653 | 645 | 16,500 | 58 | 西新井病院腎友会 | | 640 | 630 | 60,000 |
| 15 | 小笠原クリニック友の会 | | | | 47 | 395 | 385 | 65,000 | 59 | 西武病院腎友会 | | 220 | 220 | 22,000 |
| 16 | 横本病院腎友会 | | | | 82 | 306 | 309 | 77,500 | 60 | 西ノクリニック腎友会 | | 153 | 153 | 25,800 |
| 17 | 横本病院テレビ友の会 | | | | 202 | 3,669 | 2,941 | 164,000 | 61 | 日徳ビルクリニック腎友会 | | 4 | 4 | 0 |
| 18 | 北野腎友会 | | | | 45 | 333 | 341 | 31,113 | 62 | 東武東上線クリニック腎友会 | | 10 | 10 | 0 |
| 19 | 北多摩病院腎友会 | | | | 88 | 628 | 573 | 42,900 | 63 | 東横田クリニック腎友会 | | 76 | 534 | 25,000 |
| 20 | 吉祥寺クリニック腎友会 | | | | 19 | 400 | 391 | 25,300 | 64 | 東横田クリニック腎友会 | | 81 | 854 | 832 |
| 21 | 堤南クリニック患者会 | | | | 93 | 93 | 71 | 6,600 | 65 | 聖橋クリニック腎友会 | | 95 | 591 | 57,100 |
| 22 | 杏林腎友会 | | | | 35 | 630 | 629 | 35,000 | 66 | 豊生会 | | 41 | 543 | 541 |
| 23 | くじにちん会 | | | | 20 | 210 | 190 | 18,000 | 67 | 望田田友の会 | | 75 | 542 | 516 |
| 24 | 京葉病院腎友会 | | | | 64 | 104 | 106 | 7,800 | 68 | 三鷹北口病院腎友会 | | 32 | 393 | 393 |
| 25 | 江東病院腎友会 | | | | 35 | 100 | 100 | 20,000 | 69 | 南千住病院腎友会 | | 14 | 16 | 17 |
| 26 | 国立寺岡クリニック腎友会 | | | | 57 | 527 | 529 | 24,240 | 70 | 南多摩病院のぼろ会 | | 83 | 603 | 541 |
| 27 | 国立王子病院腎友会 | | | | 20 | 236 | 236 | 21,000 | 71 | 三武健腎友会 | | 15 | 64 | 66 |
| 28 | ゆぽろ会 | | | | 21 | 111 | 102 | 9,000 | 72 | 武蔵野腎友会 | | 34 | 318 | 310 |
| 29 | 三和会 | | | | 7 | 0 | 0 | 73 | 村上辰徳むまわり会 | | 21 | 206 | 203 | 12,960 |
| 30 | 三軒茶屋病院腎友会 | | | | 177 | 1,209 | 1,190 | 106,200 | 74 | 藤山山友の会 | | 50 | 740 | 730 |
| 31 | 梨園内科むまわり会 | | | | 32 | 320 | 320 | 41,220 | 75 | 谷中三和クリニック腎友会 | | 18 | 755 | 755 |
| 32 | 昭和大学病院腎友会 | | | | 7 | 86 | 85 | 31,000 | 76 | 代々木病院腎友会 | | 0 | 0 | 0 |
| 33 | 松和会患者会 | | | | 130 | 711 | 740 | 65,340 | 77 | 代々木病院腎友会 | | 140 | 864 | 864 |
| 34 | 松和会患者会 | | | | 62 | 138 | 128 | 14,000 | 78 | 国領クリニック腎友会 | | 17 | 0 | 0 |
| 35 | 松和会患者会 | | | | 25 | 91 | 93 | 12,000 | 78 | 国領クリニック腎友会 | | 17 | 0 | 0 |
| 36 | 新・新橋クリニック腎友会 | | | | 13 | 74 | 64 | 21,000 | 79 | 立川クリニック | | 10 | 50 | 31,406 |
| 37 | 新小岩クリニック友の会 | | | | 97 | 569 | 595 | 69,000 | 80 | 東村山診療所 | | 7 | 219 | 219 |
| 38 | 新山山診療所 | | | | 28 | 208 | 200 | 22,760 | 81 | 五反田東横田クリニック | | 4 | 34 | 36 |
| 39 | 新山山診療所 | | | | 21 | 244 | 230 | 11,700 | 82 | 新橋三井ビルクリニック | | 44 | 169 | 169 |
| 40 | 腎友会の会 | | | | 91 | 1,764 | 1,741 | 125,760 | 83 | 福生病院 | | 167 | 1,174 | 1,460 |
| 41 | 人工腎臓友の会 | | | | 81 | 1,315 | 1,228 | 159,240 | 84 | その他個人会員 | | 1,174 | 1,460 | 1,460 |
| 42 | すくらん腎友会 | | | | 82 | 740 | 420 | 53,900 | 85 | 個人会員 | | 2,102 | 2,102 | 3,861,760 |
| 43 | すくらん腎友会 | | | | 5 | 0 | 0 | 0 | 86 | 合計 | | 34,473 | 33,508 | 33,508 |
| 44 | 高松病院患者会 | | | | 18 | 128 | 118 | 17,500 | 87 | 合計 | | 33,155 | 32,068 | 32,068 |

文書発言用紙

1990. 4. 1

| 発 言 者 氏 名 | 年 齢 | 性 別 | 患 者 会 名 |
|--|-----|-----|---------|
| | | | |
| 住 所 〒 | | TEL | |
| <p>発言の要旨</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> | | | |